

## 【武庫川周辺阪急新駅に関する検討会について】

平成 25 年 7 月から本市が参加している（仮）武庫川周辺阪急新駅に関する検討会（兵庫県・尼崎市・西宮市・阪急電鉄株）において、報告書が取りまとめられました。以下、概要をご報告します。

### 1. 新駅の効果・影響の検証結果

#### ① 駅の有無による将来人口の差（尼崎市）

（基準年）19,522 人 → （15 年後）駅無：18,362 人 駅有：19,233 人

駅有と駅無の差：871 人\*

#### ② 駅の有無による税収の見込みの差（尼崎市）

1 年あたり約 1 億 2,200 万円の増\*

（個人市民税：5,100 万円 固定資産税・都市計画税：7,100 万円）

\* 駅設置直後の効果を含まず、また、新駅周辺に限定した概ねの推計値であり、必ずしも市全体の人口や税収の増を見込むものではない。

#### ③ 近隣鉄道駅の駐輪問題解消（尼崎市）

阪急武庫之荘駅及び JR 立花駅の駐輪自転車について、新駅への利用転換によって、各駅の放置自転車の台数を上回る数の減少が見込まれる。

・ 阪急武庫之荘駅 放置自転車台数：735 台 自転車の減少数：2,066 台

・ JR 立花駅 放置自転車台数：171 台 自転車の減少数：1,056 台

### 2. 駅設置の課題

- ・ 駅舎や駅周辺の社会基盤整備のための多額の事業費やバスネットワークの再編
- ・ 生産緑地を含む農地の減少（緑地やオープンスペースの確保）
- ・ 賑わいが創出される半面の閑静な住環境の悪化
- ・ 新たな公共施設の整備や公共サービスの増加

### 3. 今後の検討会の取り組み

報告書の最終項に記すとおり、人口、税収や近隣鉄道駅の駐輪問題の緩和について効果が見込めることが検証されたが、新駅設置については、これまでに検討会において検証してきた結果・影響だけでなく、周辺環境の変化や経済波及効果等の様々な課題があることから、そうした影響等について引き続き慎重に検討を進める。